令和6年度　江戸川区立第三葛西小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	智・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、「〈智（ちえ）〉深く考え進んで実行する子・〈仁（おもいやり）〉思いやりのある子・〈勇（ゆうき）〉明るくたくましい子」を本校の教育目標とする。		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	「夢や希望を育てる学び舎としての学校」 ・子どもにとって通うことが楽しい学校 ・子ども自身の夢や希望、子どもにかける家庭や地域の夢や希望を育てる学校
前年度までの本校の現状	成果	・算数科の問題解決型学習を全教員で統一して進め、全国学力調査において国や都を上回る結果を出すことができ、授業改善の成果を出せた。 ・全校運動遊びの内容や方法の工夫・改善により、児童の運動意欲が高まった。	課題	・児童が自分の考えや思いを表出する力の育成や場の充実について、校内研究（国語科）を通じた手だての検討。 ・様々な教育活動の取組の様子や学校関係者評価などを、積極的に発信するためのホームページを充実。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・校内研究、校内研修を通じた授業改善	・児童への意識調査結果で、80%以上が、すすんで学習をしていると肯定的な回答											
		・学校と民間事業者と連携した放課後補習教室の実施	・放課後補習教室参加者の参加率90%以上											
	○読書科の更なる充実	・学校図書館の環境整備と学校司書の活用	・全学級、学期に３回以上の図書館活用											
		・教員やボランティアによる読み聞かせ読書活動の充実や読書時間の確保	・児童への意識調査結果で、80%以上が、すすんで読書をしていると肯定的な回答											
体力の向上	○体力向上に向けた運動意欲の向上	・各学期に2週間程度のなわ跳びチャレンジウィークの設定	・児童への意識調査結果で、80%以上が楽しく取り組むことができたと肯定的な回答											
		・マラソン大会実施とマラソン月間の設定	・児童への意識調査結果で、80%以上が体が動かすのが楽しいと肯定的な回答											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○校内の支援体制の充実	・特別支援コーディネーターや生活指導主任を軸とした、児童の実態把握と対応の共通理解	・教職員が週1回以上の情報共有の機会を設ける。											
	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・巡回指導や特別支援教室専門員の活用、日本語指導員や日本語教室との連携	・毎月1回以上、管理職や通常学級担当教員と特別支援教育担当教員の打ち合わせを実施											
	○副籍交流、交流及び共同学習の実施充実	・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施	・各学期1回以上の実施											
不登校・いじめ対応の充実	○豊かな心の育成	・係・当番活動、委員会活動やクラブ活動、きょうだい学級遊びなど異学年交流の充実	・年間3回以上、いじめ問題に関する道徳授業の実施											
	○hyper-QUの活用	・QUテストの児童の実態把握に基づいた指導の推進	・年に1回校内でQU研修会を実施											
	○教育相談の強化	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係諸機関との連携強化	・不登校児童とのＳＣ、ＳＳＷ連携率100%											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○学校（園）ホームページの充実等	・学校ホームページの充実	・各学年、月2回以上の更新を行う。											
	○学校関係者評価の充実	・児童、保護者、地域、教職員へのアンケート調査の実施 ・評価項目の見直し	・保護者アンケート回収率８０%以上											
特色ある教育の展開	○働き方改革の推進	・会計年度任用職員の効果的な活用と、週に１回の定時退勤日の設定	・全教職員の月残業時間65時間以下											
	○地域環境を生かした学習活動	・大規模公園を使用した行事や、近隣にある施設、店舗等との連携	・全校で年間８回以上の実施											